



ゲームの立場を変えてみると・・・

電車に乗るとスマホ片手に忙しく指を動かす人が沢山。

小生もついニュースを次々とめくっている。

新聞やテレビには出ない小事件には気になるものもある。

ラインやフェイスブックから送られるメッセージを、パパラツとめくっている人もいる。

一方では、何やらゲームにはまっている人もいます。

スマホの立場に立つと

スマホの持ち主はゲームを楽しんでいるように見える。次々とハードルを乗り越えて、新しい局面を切り開くのは快感を覚えるのだろう。

しかし、ここで、ちょっとスマホの気持ちになってみようか。

ユーザーにドラえもんのかげコプターを提案するか？

遊ばれてるのは？

この風景を眺めていると、実はスマホの所有者がスマホで遊んでいるのではなく、人間がスマホにもて遊ばれているように見える。

こういう人生で良いのかなあ？



南水洋の第一京丸(「クジラ屋店長の気まぐれブログ」より)



静かに回る大きなプロペラ

和歌山県東牟婁郡太地町

二〇一七年十二月

南水洋で鯨を追い、船首の捕鯨砲でモリを鯨に撃ち込む。その捕鯨船、第一京丸が太地の「くじらの博物館」の庭にあって、鯨に感づかれぬ為に船尾のプロペラを大きくし、静かに回すそう。

五、六十年前には南水洋捕鯨が盛んであった。鯨の酢豚風煮、ソテー、ベーコンがよく給食に出た。子供心に、とても美味しいと思った。

先週一月七日号は年末十二月三十一日号との合併号でした

